

< 報道発表資料 >

令和 7 年 6 月 4 日

京都市環境政策局循環型社会推進部資源循環推進課

## 令和 6 年度のごみ量

令和 6 年度のごみ量は、市受入量が 36.5 万トン、最終処分量 4.3 万トンとなり、それぞれ「京(みやこ)・資源めぐるプラン」に掲げる目標を 6 年前倒しで達成しました。また、ごみ焼却量もプランの目標である 33 万トンまであと 282 トンと達成目前です。これらは、長年にわたる市民・事業者の皆様の御尽力の成果です。

今後も、同プランが目指す持続可能な循環型社会の構築に向けて、市民・事業者の皆様とともに、ごみの発生抑制と資源循環を推進していきます。

	平成 12 年度 (ピーク時)	令和元年度 (プラン基準年)	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 12 年度 (目標年)
市受入量 <sup>※1</sup>	82 万 t	40.9 万 t	37.2 万 t	36.5 万 t	37 万 t 以下
ごみ焼却量 <sup>※2</sup>	76 万 t	38.2 万 t	33.8 万 t	33.0 万 t	33 万 t 以下
最終処分量 <sup>※3</sup>	16.5 万 t	5.1 万 t	4.5 万 t	4.3 万 t	4.4 万 t 以下

※1 市の処理施設で受け入れるごみの量。2R等の取組の効果指標。

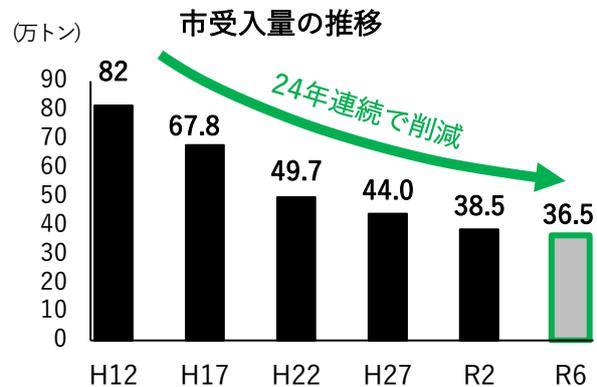
※2 市のクリーンセンターで焼却するごみの量。2R及び分別・リサイクルの取組の効果指標。

※3 市が最終処分(埋め立て)するごみの量。

### 【市受入量の詳細】

令和 6 年度の市受入量は、ピーク時(平成 12 年度 82 万トン)から 24 年連続で減少し、36.5 万トン(対前年度比▲0.7 万トン)となりました。

燃やすごみが前年度から大きく減少(対前年度比▲0.6 万トン)したことが主な減少要因です。



	平成 12 年度 (ピーク時)	令和 5 年度	令和 6 年度	対ピーク時比較		対前年度比較	
				増減量	増減率	増減量	増減率
家庭ごみ	35 万 t	19.3 万 t	18.8 万 t	▲15.7 万 t	▲45%	▲0.5 万 t	▲2.7%
うち、燃やすごみ	32 万 t	16.4 万 t	15.8 万 t	▲15.7 万 t	▲50%	▲0.6 万 t	▲3.4%
うち、資源ごみ	2 万 t	2.5 万 t	2.5 万 t	+0.7 万 t	+42%	▲0.01 万 t	▲0.2%
事業ごみ	47 万 t	17.9 万 t	17.7 万 t	▲29.4 万 t	▲62%	▲0.2 万 t	▲1.2%
総合計	82 万 t	37.2 万 t	36.5 万 t	▲45.1 万 t	▲55%	▲0.7 万 t	▲1.9%

(注 1) 一部、四捨五入の関係で各量と合計量(増減量)が一致しないことがある。

(注 2) 家庭ごみには、燃やすごみ、資源ごみのほか、大型ごみ、街頭ごみ、不法投棄ごみなどがある。

<令和5年度の1人1日当たりのごみ量について>

環境省調査<sup>※1</sup>では、京都市の令和5年度の1人1日当たりのごみ量<sup>※2</sup>は742g/人日となり、令和4年度値757g/人日から2%減少しました。他の政令指定都市の平均値(872g/人日)からは約15%少ない量になっています。

※1 環境省一般廃棄物処理実態調査(令和7年3月公表)

※2 市受入量(家庭ごみ、事業ごみ)のほか、集団回収量を合算した量

<お問合せ先>

京都市環境政策局循環型社会推進部資源循環推進課

電話：075-222-3946